



NAKAMURA

FLOWER BULBS SINCE 1955

株式会社 中村農園

NAKAMURA-NOEN CO.,LTD.

〒781-0270 高知県高知市長浜 5381  
5381, Nagahama, Kochi 781-0270, Japan

☎0120-874195 (ハナヨイキューコン)

Tel. (088)841-1311 Fax. (088)841-0603

E-mail: info@nfb.co.jp URL: http://www.nfb.co.jp

お客様各位

## 2022年南半球産 取扱予定品種一覧表&lt;暫定版&gt;のご送付に付

2022年2月15日

株式会社中村農園

中村 慶吾

いつもお世話になっております。表題の件につきまして、ご案内申し上げます。

今回お送りする表は、日本向けにオファー情報が入っている品種(=弊社取扱予定)の一覧です。生産は確認できているものの、オランダの切花生産者向けを検討中など、現時点で球根の販売方針がはっきりしないものは割愛しております。

ノッティングヒル、カテマコ、ロディ、マレンゴ、クリスタルブランカ、パポソ、バカルディ、レソト、ポット品種など、今後、具体的なオファーとなりましたら、在庫表等でご案内させていただきたいと思っております。

影響が大きいところでは、イエローウィン NZ がウイルス感染により、日本への販売がなくなりました。又、同黄色 OT のベルビル NZ は、種球不足を補うため、販売球全てが母球に使用される見込みです。

生育が早く南半球産向きだった、サイレンティア NZ、ファストラダ CH は生産停止となり、ザンベジ NZ、トゥーレガ NZ が大幅減少となっております。プレミアムブロンド CH を生産するサザンバルブは、2年前にコロナ禍の先行き不透明感から、多くの種球を処分してしまい、今年は生産全体が減少しています。シベリアはアイランドバルブの3割程度に当たる圃場が輸出規格に適さないなど誤算もありましたが、弊社では南半球の白全体で、前年取扱い球数近くを何とか確保する予定です。

ピンクは、増産傾向にあったホメロス CH が半減、フェニス NZ が約7割減少、ルビアナが生産停止。バンドーム CH が約2割減、オバダ CH が NZ に移行するも本年の供給は需要に対し極僅かなど、日本向け品種の減少が響き、ピンク全体(黄色も含めた白以外全体)で前年の球数確保は難しいと予想しています。

一方、八重咲き品種は、(オランダ産同様)南半球でもローズリリー以外の系統が加わり、小球でリン付の良いタイプでは、カダンゴ、サマンサ、キュリオシティ、ビオラ、ホワイトトルネードなどの生産が増えてきています。

よろしくお願い致します。

以上